

公益財団法人大阪難病研究財団
22世紀難病ラボ 主任研究員
募集要項

本財団においては、未来の医療発展を推進すべく、22世紀難病ラボを設立、各難病の個別のテーマを超え俯瞰した基礎および臨床研究活動を行います。

このたび、下記の課題研究に従事くださる研究者の方を募集いたします。

募集人員 2名予定（主任研究員）

期間 2か年（本年度の場合、2022年9月～2024年3月末となります）

1. 応募資格

① 指定課題1. 2. いずれかについて研究、達成が可能であること

課題1.

心筋障害・心肥大・心不全の遺伝子・分子生物学的メカニズムの解明とその臨床応用
研究概要

2021年12月に「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」が成立して、国民病であった脳卒中にくわえて循環器疾患の重要性がクローズアップされている。心臓病は、難病である心筋症を含んでおり、その病態においては心肥大・心不全が特に重要となるため、そのプロセスの中で心筋障害を引き起こす遺伝子・分子生物学的メカニズムを解明して、創薬につなげていく。具体的には循環器疾患・心筋症を引き起こす心肥大・心筋障害・心不全の分子メカニズムを生化学的・分子生物学的・遺伝子工学的に解明し、薬理学的手法にて創薬をおこない、臨床応用を目指す。

課題2.

新しい抗アレルギー薬理機構を持つ天然物によるアレルギー疾患治療戦略

研究概要

医薬品のみならず食品が疾患予防に重要な役割を果たすことはよく知られている。例えば緑茶に含まれるカテキンは動脈硬化抑制効果があることや、サンタベリーやブドウ、ピーナッツの渋皮などに含まれるレスベラトロールはポリフェノールの一種で抗酸化作用から臓器保護効果、抗加齢効果があることが知られている。また、徳島県の山間部で生産される後醍醐茶、阿波晩茶は多くの難治性疾患に対する有効性が伝承されている。代表的難治性疾患であるアレルギー疾患はヒスタミン・蛋白キナーゼc- δ シグナルによる主要機構に加えて、NFATシグナルの関与が明らかとなっているが、アレルギー性鼻炎モデルラットにおいて、鼻症状は抗ヒスタミン薬と阿波晩茶の併用投与で症状の約90%が改

善されることが報告されて注目されている。これらの基礎的エビデンスをもとに、食品に含まれる成分がヒトのアレルギー疾患を改善するか否かを検討し、アレルギー疾患の新しい治療法の確立を試みる。

- ② 医師免許を取得していること
- ③ 病院等医療機関にて臨床の経験を有すること
- ④ 本財団の研究者として府省共通研究開発管理システム（e-Rad）に登録すること（併任可）
- ⑤ 課題について論文を作成、査読誌に投稿可能であること
- ⑥ 協調性を有し、研究者・外部機関との適切な対応能力を有すること

2. 職務内容

- ① 課題研究の従事（兼業可能）
- ② 基礎研究・T R研究の遂行
- ③ 臨床研究の遂行：観察・介入研究の計画と実行
- ④ その他、臨床研究における関連業務

3. 応募書類

- ① 応募理由
- ② 履歴書
- ③ 医師免許証写し
- ④ 代表論文別刷り

4. 応募締切

2022年7月19日（火）

（郵送の場合消印有効、メール送信の場合23時59分送信まで有効）

応募書類を紙面にてご提出の場合、5. 記載の住所まで送付ください。

PDF版にてメールご送信の場合、5. アドレスまでPW付帯にてご送信ください。

5. 書類提出先とお問合せ

〒558-0011

大阪府大阪市住吉区菟田九丁目14番25号 阪和記念会館内

公益財団法人大阪難病研究財団 22世紀難病ラボ 宛

TEL06-6690-5330 FAX06-6690-5331

E-mail office-lab@nanbyo.or.jp

6. 審査について

1次書類審査後、通過の方に2次審査についてご連絡いたします。

2次審査予定日 2022年8月17日(水) 予定

2次審査はお一人10分程度の研究課題に関するプレゼンテーションと10分程度の質疑応答などを予定しております。

手順、準備書類の詳細については追ってご連絡申します。

今回の募集に際し、研究課題を完遂いただき、ともに未来の医療に寄与できる方を希望しております。よろしくお願いいたします。

以上